

畜産統計、豚飼養戸数 7.1%減で 3130 戸

~1 戸当たり子取雌豚飼養数初めて 300 頭台~

農水省は 7 月 9 日、2024 年 2 月 1 日現在の「畜産統計」を公表した。養豚飼養戸数は前年より 7.1%減少して 3130 戸に、飼養頭数は 1.8%減って 879 万 8000 頭となった。1 戸当たり子取り用雌豚飼養頭数が初めて 300 頭を超え、317.3 頭となった。来年はセンサス年で畜産統計は行われないうが、傾向からすると戸数がいよいよ 3000 戸を下回る可能性が高い。

飼養戸数の 3130 戸は、2014 年比で 40.6%減少し、10 年間に年率平均 4.1%のペースで減少し続けてきたが、今回の対前年減少率の 7.1%はこのペースを大きく上回った。飼養頭数の減少は対前年 1.8%の微減にとどまったが、2022 年に 900 万頭台を割り込んでから 3 年連続で大台を回復できなかった。1 戸当たり飼養頭数はさらに 5.8%増加して 2810.9 頭に達した。

子取り用雌豚の飼養頭数は前年度より 4.2%減って 75 万 8300 頭となり、3 年連続で 80 万頭の大台を下回った。飼養戸数は 2390 戸で、子取り用雌豚の 1 戸当たり飼養頭数は 317.3 頭と、初めて 300 頭を超えた。子取り用雌豚飼養頭数の減少率(4.2%)は、総飼養頭数の減少率(1.8%)の 2.3 倍と高くなっている。また、子取り用雌豚飼養頭数の総飼養頭数に占める割合は 8.6%で過去最低となっている。これらは、多産系母豚の利用が進んでいることを示唆している。

このほか、種雄豚の飼養頭数は 2 万 4800 頭(対前年度比 7.5%減)、肥育豚飼養頭数は 736 万 2000 頭(同 2.0%減)となっている。

都道府県別の飼養状況を見ると、戸数で千葉県が茨城県を抜いて 3 位になったほか、北海道が前年の 6 位から 5 位に上がり、飼養頭数では宮崎県を抜いて 2 位に上がった。戸数が増えた県はなかったが、頭数ではトップ 10 のうち鹿児島県、群馬県、熊本県、栃木県で増えた。

◆畜産統計 飼養戸数・頭数のトップ10

順	都道府県	飼養戸数		
		2024年	2023年	順
1	鹿児島	387	443	1
2	宮崎	261	295	2
3	千葉	216	223	4
4	茨城	208	226	3
5	北海道	186	191	6
6	沖縄	174	195	5
7	群馬	163	172	7
8	愛知	138	138	9
9	熊本	126	143	8
10	宮城	88	94	10

順	都道府県	飼養頭数		
		2024年	2023年	順
1	鹿児島	1,200,000	1,153,000	1
2	北海道	752,200	759,600	3
3	宮崎	721,900	818,200	2
4	群馬	610,800	593,700	4
5	千葉	580,700	588,400	5
6	岩手	459,100	474,000	6
7	茨城	424,000	458,400	7
8	熊本	347,900	338,000	9
9	青森	334,800	356,300	8
10	栃木	324,900	299,800	11

◆国内の豚飼養状況と枝肉生産量の推移(平成以降)

年度	飼養戸数	飼養頭数	子取り用雌飼養頭数	1戸当たり飼養頭数	子取り雌/飼養頭数	年間と畜頭数	と畜頭数/雌豚数	枝肉生産量(t)※参考
平成元 (1989)	50,200	11,866,000	1,214,000	236.4	10.2%	21,444,008	17.7	1,596,809
平成11 (1999)	12,500	9,879,000	931,200	790.3	9.4%	16,852,789	18.1	1,274,753
平成21 (2009)	6,890	9,899,000	936,700	1436.7	9.5%	17,077,029	18.2	1,317,617
平成22 (2010)	6,450	9,833,500	919,250	1524.6	9.3%	16,620,939	18.1	1,277,873
平成23 (2011)	6,010	9,768,000	901,800	1625.3	9.2%	16,507,649	18.3	1,277,142
平成24 (2012)	5,840	9,735,000	900,000	1667.0	9.2%	16,752,939	18.6	1,295,142
平成25 (2013)	5,570	9,685,000	899,700	1738.8	9.3%	16,934,370	18.8	1,310,438
平成26 (2014)	5,270	9,537,000	885,300	1809.7	9.3%	16,033,884	18.1	1,249,841
平成27 (2015)	5,050	9,425,000	865,000	1866.3	9.2%	16,261,395	18.8	1,267,576
平成28 (2016)	4,830	9,313,000	844,700	1928.2	9.1%	16,383,222	19.4	1,277,345
平成29 (2017)	4,670	9,346,000	839,300	2001.3	9.0%	16,304,335	19.4	1,271,195
平成30 (2018)	4,470	9,189,000	823,700	2055.7	9.0%	16,390,382	19.9	1,281,591
令和元 (2019)	4,320	9,156,000	853,100	2119.4	9.3%	16,444,629	19.3	1,289,533
令和2年 (2020)	4,085	9,223,000	838,150	2266.2	9.1%	16,761,847	20.0	1,309,519
令和3年 (2021)	3,850	9,290,000	823,200	2413.0	8.9%	16,826,410	20.4	1,318,069
令和4年 (2022)	3,590	8,949,000	789,100	2492.8	8.8%	16,479,271	20.9	1,287,016
令和5年 (2023)	3,370	8,956,000	791,800	2657.6	8.8%	16,389,553	20.7	1,297,743
令和6年 (2024)	3,130	8,798,000	758,300	2810.9	8.6%
対前年度比	92.9%	98.2%	95.8%	105.8%	97.5%	99.5%	99.1%	100.8%
過去10年傾向	59.4%	92.3%	85.7%	155.3%	92.8%	102.2%	114.3%	103.8%
平成元年対比	6.2%	74.1%	62.5%	1189.2%	84.2%	76.4%	117.2%	81.3%

※畜産統計は毎年2月1日現在の飼養状況を農水省が取りまとめているデータ

※平成17、22、27年は農業センサス年で畜産統計のデータがないため、前後の年の中間値を表記

※枝肉生産量は「食料需給表」より(=年間と畜頭数×平均枝肉重量)

※年間と畜頭数・と畜頭数/雌豚数・枝肉生産量の過去費は、2023年数値のもの

母豚 200 頭以上 42%が飼養頭数の 85%

～畜産統計、大規模への生産集約化進む～

今年2月1日現在の「畜産統計」から、子取り用雌豚(以下「母豚」)飼養規模別集計を見ると、母豚を使用する2265戸のうち、母豚規模200頭以上の戸数は956戸で全体の42.2%を占め、その階層の総飼養頭数シェアは85.1%に達した。

規模別集計でカウントされた母豚を飼養する戸数2265戸は、全飼養戸数3130戸のうちの72.4%、そこで飼養される飼養頭数は全体の84.2%となっている。規模拡大、大規模階層への集約化が進む一方で、母豚100頭未満の戸数が全体の36.6%を占める828戸あり、その階層が総飼養頭数では5.5%のシェアとなっている。

◆子取り用雌豚飼養規模階層ごとの戸数お雌豚飼養頭数の分布・シェア

子取り雌豚飼養頭数階層	200頭以上	100～199頭	50～99頭	30～49頭	10～29頭	1～9頭	合計
▼飼養戸数	956	481	385	170	136	137	2,265
割合(累計)	42.2%	21.2%(63.4%)	17.0%(80.4%)	7.5%(87.9%)	6.0%(93.9%)	6.0%(100%)	
▼総飼養頭数	6,303,000	693,700	301,100	70,300	27,000	12,700	7,407,800
割合(累計)	85.1%	9.4%(94.5%)	4.1%(98.6%)	0.9%(99.5%)	0.4%(99.9%)	0.2%(100%)	